



ほけんだより 9月号



平成29年9月1日
榎島ひいらぎ保育園
園長 上平 伸也

残暑は厳しいものの、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。暑い夏を元気いっぱいに過ごした子どもたちも、この時期そろそろ疲れが出るころです。生活リズムを整え、しっかりと食事をとるなどして、体調を崩さないよう気を付けましょう。



防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は**防災の日**9月9日は**救急の日**です。もしもの時に備え非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話していただき、緊急時に備えるようにしましょう。9月25日(月)は宇治市消防団の方による自然災害学習が幼児クラス(ちきゅう・たいよう・ぎんが組)を対象に行われる予定です。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など)
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する(食べ物が喉に詰まることがある)
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する



RSウイルス感染症

肺炎や気管支炎などを起こすウイルス感染症で、秋から冬場に乳幼児の多くが感染します。終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染するとされているため、毎年かかる子どもも多いようです。

<潜伏期間> 2～8日

<症状>

- ・鼻水や咳などかぜに似た症状
- ・38～39度の高熱
- ・ゼイゼイという呼吸音

通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。特に乳児や心肺の基礎疾患がある子は重症化しやすいので、注意が必要です。

<登園ついて>呼吸器の症状がよくなり、全身状態が良ければ登園可能です。登園届は不要です。



症状が軽い場合は、かぜを引いた時と同様に、水分補給・睡眠・栄養・部屋の加湿に注意し、安静にして経過を見ます。2歳未満の子どもは、夜中に急に悪化することがあります。呼吸困難の徴候が見られたら、すぐに受診するようにしましょう。